

# アジアパシフィックシステム総研株式会社

ASIA PACIFIC SYSTEM RESEARCH Co.,Ltd.

2009年9月期第2四半期 決算報告

2009.4.22

## I 連結業績サマリー

◆ 業績の概況	01
◆ 資産の概況	02
◆ 品目別売上	03
◆ 業種別売上	04
◆ 経営トピックス	05

---

## II 今後の施策と業績予想

◆ 市場動向に対する認識	06
◆ 今後の施策	07
◆ 連結業績予想	08

---

## III 補足資料

◆ 会社概要	09
◆ 注意事項	10

# I - 01 業績の概況

単位：百万円未満切捨

	2008年9月期(連結) 第2四半期累計期間		2009年9月期(連結) 第2四半期累計期間		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	3,931	100.0%	3,595	100.0%	△ 335	-8.5%
売上原価	3,224	82.0%	2,996	83.3%	△ 228	-7.1%
売上総利益	706	18.0%	598	16.7%	△ 107	-15.2%
販売費及び一般管理費	523	13.3%	582	16.2%	58	11.2%
営業利益	182	4.7%	16	0.5%	△ 166	-90.8%
経常利益	191	4.9%	22	0.6%	△ 168	-88.1%
四半期純利益	178	4.5%	7	0.2%	△ 170	-95.7%

売上高は、景気悪化の影響による顧客のシステム投資の延期と一部子会社で受託している開発案件の検収が下半期にズレ込んだこと等の理由により、前年同期比8.5%の減少となりました。

営業利益は、売上高の減少と販売費及び一般管理費の増加により、前年同期比で166百万円の減少となりました。一般管理費の増加要因として、セキュリティ対策、内部統制の整備と強化に伴うコスト増と新設会社(日本NonStopイノベーション社)の人員増強によるコスト増が挙げられます。

四半期純利益は、上記営業利益の減少と当社親会社キヤノン電子株式会社との資本業務提携に係る手数料117百万円を特別損失として計上したことにより、前年同期比95.7%(170百万円減少)となりました。

## I - 02 資産の概況

単位：百万円未満切捨

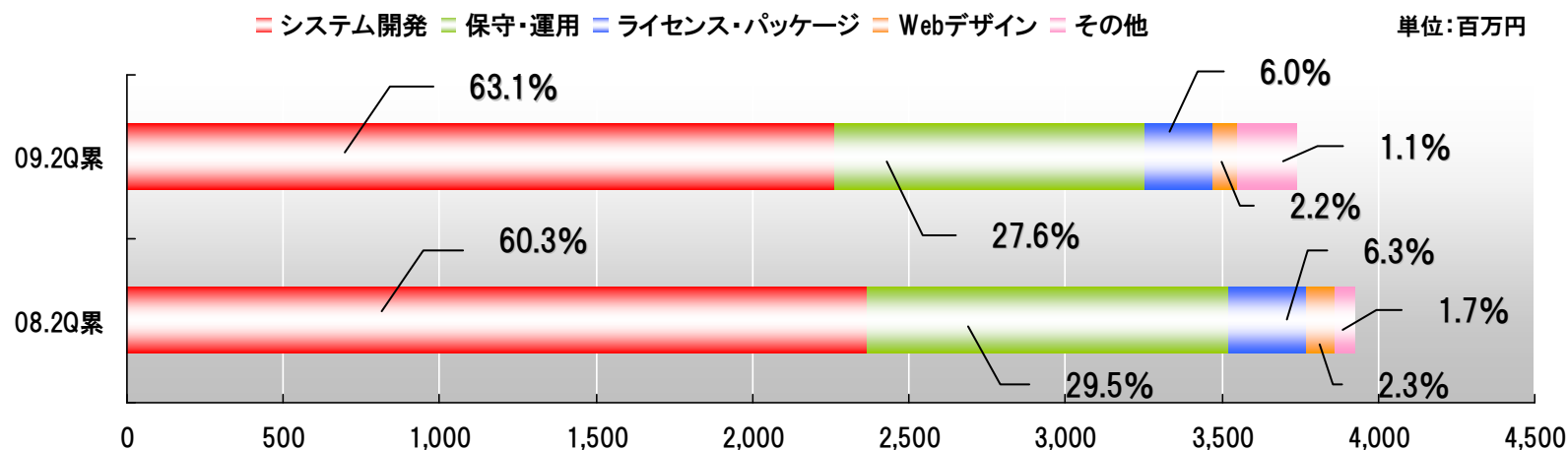
	2008年9月期(連結) 第2四半期		2008年9月期(連結)		2009年9月期(連結) 第2四半期		前期末比	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
流動資産	5,543	88.6%	5,688	88.6%	5,333	87.4%	△ 355	-6.2%
現金及び預金	2,818	45.1%	3,994	62.2%	3,472	56.9%	△ 522	-13.1%
棚卸資産	197	3.2%	250	3.9%	214	3.5%	△ 36	-14.4%
固定資産	710	11.4%	733	11.4%	767	12.6%	34	4.7%
無形資産	508	8.1%	499	7.8%	521	8.5%	21	4.3%
その他	202	3.2%	234	3.6%	246	4.0%	12	5.5%
総資産	6,254	100.0%	6,422	100.0%	6,101	100.0%	△ 320	-5.0%
有利子負債	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
純資産	5,195	-	5,346	-	5,267	-	△ 79	-1.5%
自己資本比率	83.1%	-	82.6%	-	85.9%	-	-	-

自己資本比率は85.9%、有利子負債もない状態であり、非常に強固な財務基盤を維持しております。また、現預金は3,472百万円あり、高い流動性を確保しております。

# I - 03 品目別売上

単位:百万円未満切捨

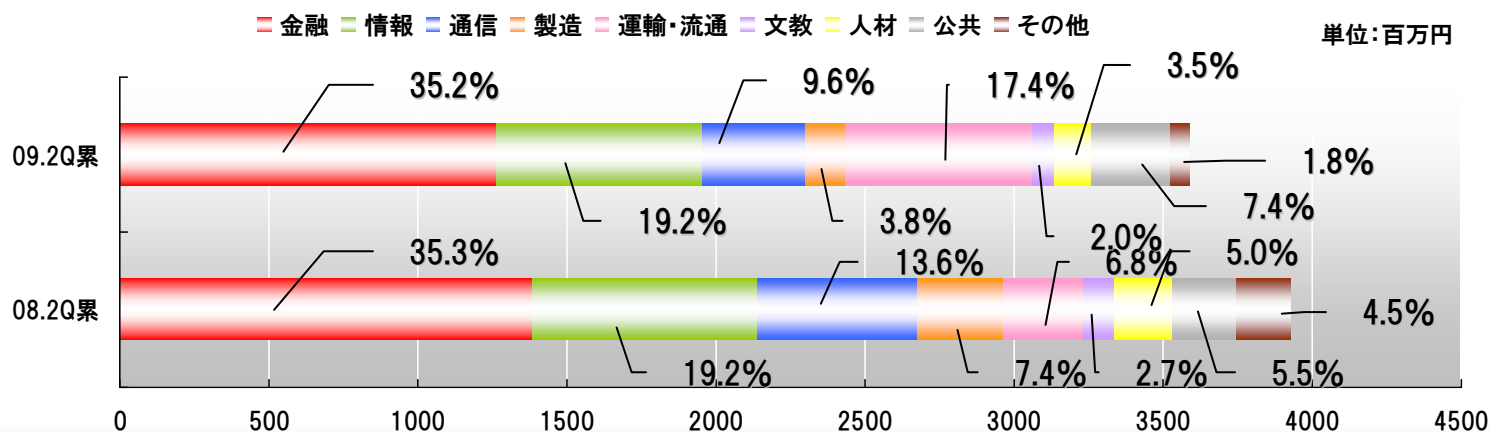
	2008年9月期(連結) 第2四半期累計期間		2009年9月期(連結) 第2四半期累計期間		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	3,931	100.0%	3,595	100.0%	△ 335	-8.5%
システム開発	2,370	60.3%	2,268	63.1%	△ 102	-4.3%
保守・運用	1,159	29.5%	992	27.6%	△ 167	-14.4%
ライセンス・パッケージ	245	6.3%	216	6.0%	△ 29	-12.0%
Webデザイン	89	2.3%	77	2.2%	△ 12	-13.8%
その他	65	1.7%	41	1.1%	△ 24	-37.2%



# I - 04 業種別売上

単位:百万円未満切捨

	2008年9月期(連結) 第2四半期累計期間		2009年9月期(連結) 第2四半期累計期間		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	3,931	100.0%	3,595	100.0%	△ 335	-8.5%
金融	1,388	35.3%	1,265	35.2%	△ 123	-8.9%
情報	755	19.2%	691	19.2%	△ 63	-8.4%
通信	534	13.6%	346	9.6%	△ 188	-35.3%
運輸・流通	268	6.8%	626	17.4%	358	133.5%
人材	194	5.0%	124	3.5%	△ 70	-36.2%
公共	217	5.5%	266	7.4%	49	22.6%
製造	290	7.4%	135	3.8%	△ 155	-53.5%
文教	104	2.7%	72	2.0%	△ 32	-30.7%
その他	176	4.5%	66	1.8%	△ 109	-62.4%



### ◆ 連結子会社の吸収合併

平成21年4月1日付けで人材派遣業界向けソリューション、統合ビジネスアプリケーション等のパッケージソフトウェアの開発・販売事業を展開している連結子会社のトアーシステム株式会社を吸収合併いたしました。

これは、全社戦略の見直しを行った結果、同社を吸収合併することによりパッケージソフトウェアの開発・販売事業を当社ソリューション・サービス事業本部に集中し、経営の効率化を推進することが最適であると判断したものであります。当社は、今般の統合を機に、同事業の更なる業容拡大に努めてまいります。

#### 【連結子会社の概要】

商号	トアーシステム株式会社
主な事業の内容	ソフトウェア開発・販売
設立年月日	昭和56年7月
本店所在地	東京都豊島区高田三丁目37番10号
代表者	代表取締役社長 佐藤 秀行
資本金	97.5百万円
大株主及び持株比率	アジアパシフィックシステム総研株式会社(100.0%)

### ◆ 情報システムは必要不可欠な機能となっている

近年、情報システムが経済・社会の基盤として必要不可欠な機能となっている状況のなかでは、ITバブルが崩壊した頃のような急激な情報産業の低迷はないものと認識しておりますが、世界的な景気悪化の影響により、企業の情報システム投資予算の絞り込みが行われており、ここ数ヶ月の間に情報システム開発の受注環境は非常に厳しくなっております。

そのため、当社の主要事業であるシステム開発・運用・保守に該当するITサービス市場の2009年の市場動向は、前年比成長率はマイナスとなる可能性が高まっております。

### ◆ 十分分散された顧客ポートフォリオを構築

金融危機の影響を大きく受けた業界の案件減少は避けられないものの、当社は十分に分散された顧客ポートフォリオを構築しているため、比較的安定した事業基盤を有しております。

### 今期経営方針

景気回復期に大きな飛躍を遂げるため、景気悪化懸念が高まるこの期間を、企業基礎体力の強化期間と位置づけております。



### 今後の施策

- ・既存取引先との連携の強化
- ・受注競争力強化のため、新ソリューションの構築
- ・キヤノン電子グループとの協業推進
- ・優秀な人材の採用と育成の強化
- ・品質マネジメントシステムの構築
- ・情報セキュリティ管理の強化
- ・コンプライアンス推進の強化

## II - 08 連結業績予想

単位：百万円未満切捨

	2008年9月期(連結)		2009年9月期(連結)		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
売上高	7,628	100.0%	8,250	100.0%	621	8.2%
営業利益	307	4.0%	285	3.5%	△ 22	-7.2%
経常利益	320	4.2%	300	3.6%	△ 20	-6.5%
当期純利益	289	3.8%	165	2.0%	△ 124	-43.0%

連結業績予想につきましては、平成20年11月4日に公表いたしました平成20年9月期決算短信に記載の業績予想から変更はありません。

商号	アジアパシフィックシステム総研株式会社 ASIA PACIFIC SYSTEM RESEARCH Co.,Ltd.
設立	1970年4月
決算期	9月末日
主な事業の内容	情報処理サービス業
本社	東京都豊島区
代表取締役社長	内山 毅
会長	鈴木 善昭
取締役	江崎 博 佐藤 秀行 平林 正基
監査役	萩原 哲雄 中島 義雄 原 恒夫 清水 栄一
資本金	23億9,991万円(2009年3月末現在)
主要株主	キヤノン電子株式会社
発行済株式数	900万2千2百株(2009年3月末現在)
従業員数	540名(連結)(2009年3月末現在)
拠点	本社(東京)、関西支社(大阪)、九州支社(福岡)、沖縄支社
連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社ソリューション開発</li> <li>・日本NonStopイノベーション株式会社</li> </ul>

本資料で記述されている内容は、アジアパシフィックシステム総研株式会社の現時点に関する入手可能な情報に基づき、一部主観的な前提をおいて合理的に判断したものであるため、様々な要因の変化により、将来の結果は大きく異なる可能性があります。